

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第42週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (42週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、百日咳 6 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	高鍋	50歳代	男	無症状病原体保有者	—
			50歳代	男	無症状病原体保有者	—
			50歳代	男	無症状病原体保有者	—
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	都城	70歳代	男	—	腹膜炎
	百日咳	宮崎市	10歳代	男	—	持続する咳
			40歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
	百日咳	日南	5~9歳	男	—	持続する咳
			5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
	百日咳	高鍋	10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			40歳代	女	—	持続する咳

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 463 人(定点当たり 14.5)で、前週比 78%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はなく、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

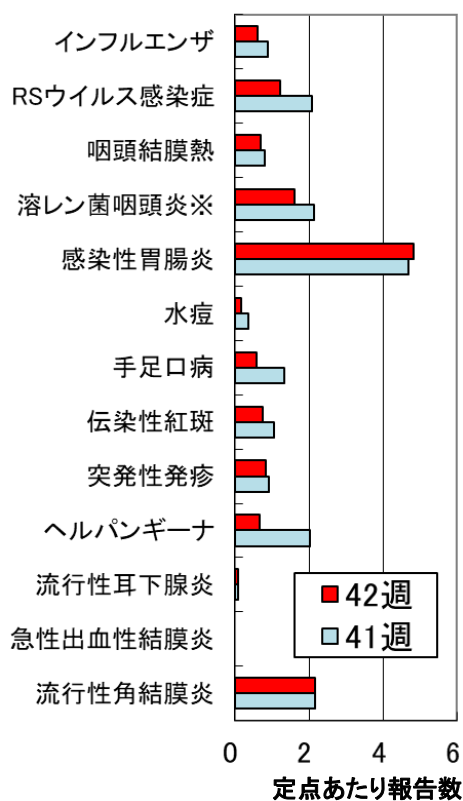
報告数は 36 人(0.61)で、前週比 69%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.05)の約 12.2 倍である。高千穂(1.5)、都城(1.3)、宮崎市(0.94)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【伝染性紅斑】

報告数は 27 人(0.75)で、前週比 71%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.32)の約 2.3 倍である。中央(2.0)、延岡(1.8)、都城(1.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

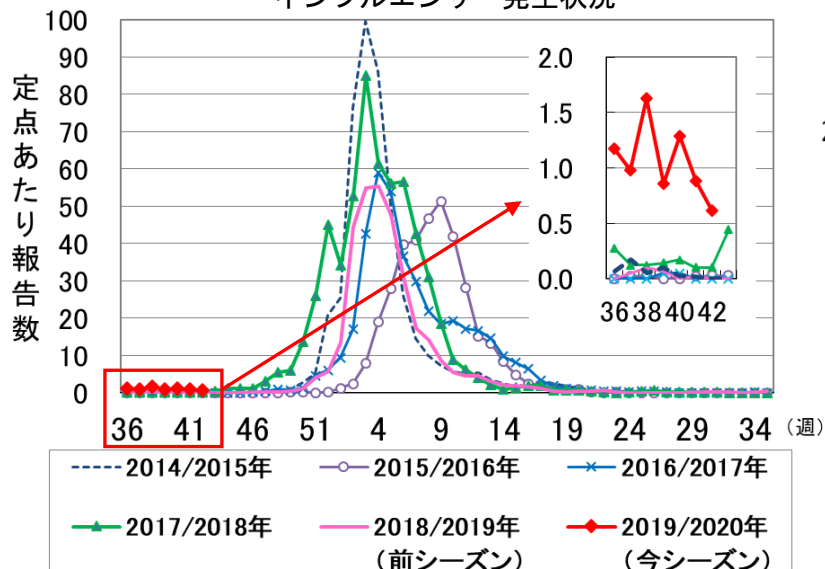
* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

《前週との比較》

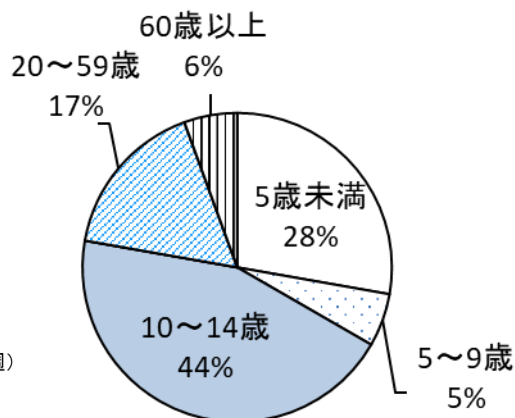


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

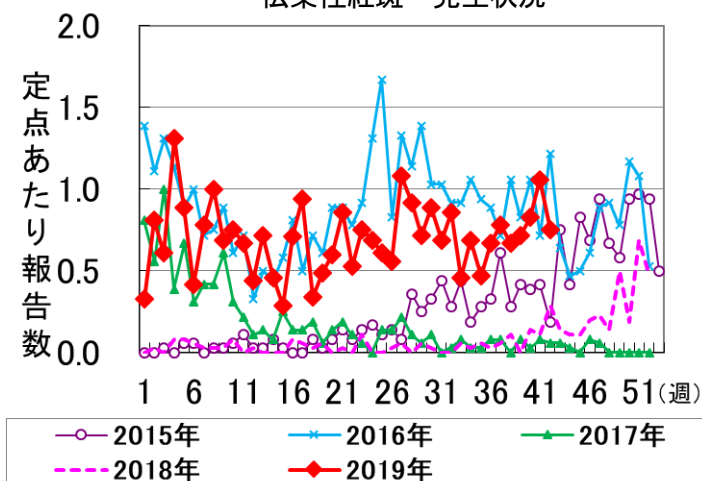
インフルエンザ 発生状況



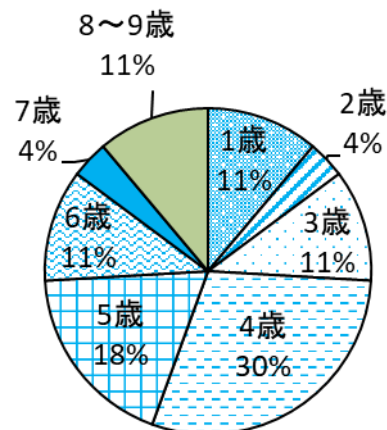
インフルエンザ 年齢群別割合



伝染性紅斑 発生状況



伝染性紅斑 年齢群別割合



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市、日向保健所から各1例報告があり、いずれも0~4歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	水痘(1.3)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	伝染性紅斑(2.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

・伝染性紅斑(2.0)

* 流行注意報レベル基準値*

・水痘(1.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和元年10月21日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	5~9歳	女	2019.07.31	発熱(38.9℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2019.08.08
Salmonella Braenderup(O7:e,h:e,n,z15)	0~4歳	男	2019.08.26	発熱(38.7℃)、胃腸炎(水様性下痢、血便、腹痛)	便	2019.09.04
Salmonella Miyazaki(O9:l,z13:1,7)	70歳代	男	2019.10.02	胃腸炎(水様性下痢、血便)	便	2019.10.08
Salmonella Oranienburg(O7:m,t,-)	10歳代	男	2019.10.07	発熱(41.0℃)、下痢	便	2019.10.17

○10代後半の男性から S.Oranienburg が分離された。S.Oranienburg は、2018年8月に鹿児島県内で散発事例が複数発生したことが報告されている（IASR Vol. 40 No. 5(2019. 5)）。報告では、いずれも血液から分離され、重症例も多く見られている。非チフス性サルモネラ属菌の菌血症は感染症発生動向調査の対象ではないが、これまでに S.Oranienburg の集団食中毒事例も報告されていることから、今後も注意が必要な血清型と考えられる。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
コクサッキーウイルスA10型	5～9歳	男	2019. 07. 23	扁桃炎、39. 0℃	咽頭ぬぐい液	2019. 10. 09
ヒトメタニューモウイルス	0～4歳	女	2019. 08. 29	急性上気道炎、40. 1℃、 熱性けいれん、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2019. 10. 11
コクサッキーウイルスB5型	0～4歳	男	2019. 08. 30	ウイルス性髄膜炎、40. 0℃	便 咽頭ぬぐい液	2019. 10. 18
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	男	2019. 09. 23	インフルエンザA型、40. 5℃、 上気道炎	咽頭ぬぐい液	2019. 10. 17
インフルエンザウイルスAH1pdm09	10歳代	男	2019. 09. 24	インフルエンザA型、40. 3℃、 上気道炎	咽頭ぬぐい液	2019. 10. 17
インフルエンザウイルスAH1pdm09	20歳代	女	2019. 09. 26	インフルエンザA型、39. 5℃、 上気道炎、下気道炎、関節痛、筋肉痛	咽頭ぬぐい液	2019. 10. 17

○インフルエンザと診断された3名からインフルエンザウイルス AH1pdm09 が分離された。全国のインフルエンザウイルス分離・検出状況を見ると、2019年10月21日現在、AH1pdm09 が118件と最も多く、次いでAH3が12件、B型（ビクトリア系統）が9件、B型（山形系統）が1件となっている。本県では、今シーズン AH1pdm09 が6件分離されている。今後インフルエンザの流行が予測されることから、手洗いやワクチン接種等の感染予防策をとり、注意することが重要である。

🇯🇵 全国 2019 年第 41 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 41 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	311 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	77 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	4 例	A型肝炎	5 例	回帰熱	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	7 例	チクングニア熱	2 例	つつが虫病	2 例
	デング熱	13 例	日本紅斑熱	14 例	レジオネラ症	33 例
	レプトスピラ症	2 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	35 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12 例
	後天性免疫不全症候群	7 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例	侵襲性肺炎球菌感染症	26 例
	水痘（入院例）	3 例	梅毒	55 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	1 例	百日咳	246 例	風しん	7 例
	麻しん	2 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 95%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はなく、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と伝染性紅斑であった。

インフルエンザの報告数は 4, 421 人(0. 90)で前週比 91%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値* (0. 15)の約 6. 0 倍である。沖縄県(18. 0)、鹿児島県(4. 1)、佐賀県(2. 8)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 6 割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は 1, 707 人(0. 54)で前週比 84%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値* (0. 23)の約 2. 4 倍である。福井県、大分県(各 1. 8)、富山県、香川県(各 1. 4)からの報告が多く、年齢群別では 3～6 歳が全体の約 6 割を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第42週(10月14日～10月20日)

疾病名		第41週	第42週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	52	36	15	13	2		1	2	3		
	定点当り	0.88	0.61	0.94	1.30	0.29	0.00	0.20	0.33	1.50	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	75	44	13	4	6	3	1	3		11	3
	定点当り	2.08	1.22	1.30	0.67	1.50	1.00	0.33	0.75	0.00	2.75	3.00
咽頭結膜熱	報告数	29	25	13	8	2					1	1
	定点当り	0.81	0.69	1.30	1.33	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	77	58	20	15	6	10	1	5		1	
	定点当り	2.14	1.61	2.00	2.50	1.50	3.33	0.33	1.25	0.00	0.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	169	174	24	34	14	27	23	18	2	30	2
	定点当り	4.69	4.83	2.40	5.67	3.50	9.00	7.67	4.50	2.00	7.50	2.00
水痘	報告数	13	6	2			4					
	定点当り	0.36	0.17	0.20	0.00	0.00	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	48	21	8	3	5	1		1		1	2
	定点当り	1.33	0.58	0.80	0.50	1.25	0.33	0.00	0.25	0.00	0.25	2.00
伝染性紅斑	報告数	38	27	8	7	7		1			2	2
	定点当り	1.06	0.75	0.80	1.17	1.75	0.00	0.33	0.00	0.00	0.50	2.00
突発性発しん	報告数	33	30	8	4	4	3	6	1		3	1
	定点当り	0.92	0.83	0.80	0.67	1.00	1.00	2.00	0.25	0.00	0.75	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	73	24	5	3	5	3	3	4			1
	定点当り	2.03	0.67	0.50	0.50	1.25	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	3	1		1					1	
	定点当り	0.08	0.08	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	13	10	2	1						
	定点当り	2.17	2.17	3.33	1.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1	2	1							1	
	定点当り	0.14	0.29	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～42週)

2類感染症	結核	169例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	40例	腸チフス	1例
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	4例
	日本紅斑熱	4例	レジオネラ症	8例
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	3例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例	後天性免疫不全症候群	4例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	18例
	破傷風	1例	百日咳	265例(6)
	麻しん	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13例(1)
			重症熱性血小板減少症候群	8例
			クリプトスポリジウム症	1例
			侵襲性肺炎球菌感染症	11例
			播種性クリプトコックス症	1例
			風しん	1例

()内は今週届出分、再掲